

## VIII. 添付資料

### 添付資料1 文献リスト

- ①畜産物(食肉、乳、鶏卵)中の放射性物質濃度のデータを得るために入手した文献
- ②畜産物(食肉、乳、鶏卵)中の放射性物質濃度を低減させる技術を検討した文献

本調査では、文献データベース(JDreamII)を用いた検索により、畜産物(食肉、乳、鶏卵)およびその飼料中の放射性物質に関する文献情報を収集した。また、食品総合研究所「放射性物質影響ワーキンググループ」<sup>68</sup>が収集・公開している文献リストも併せて検討対象とした。

収集した文献情報より、本調査では、チェルノブイリ原子力発電所事故後の畜産物中の放射性物質濃度の具体的データが記載されている文献、畜産物中の放射性物質濃度を低減させる技術を検討している文献に注目し、これらについて原報を入手し、内容を詳細に検討した。

収集した文献について、書誌事項、論文のポイント、対象畜産物、対象核種などの情報を記載したリストを添付資料1に示す。

### 添付資料2 注目文献の概要

添付資料1にリストアップした文献のうち、特に注目すべき文献については、1,000文字程度の日本語概要を作成した。

食品総合研究所「放射性物質影響ワーキンググループ」が和文要約を公開している文献については、本調査では取り上げなかった。

### 添付資料3 “Environmental Consequences of the Chernobyl Accident and their Remediation: Twenty Years of Experience, IAEA(2006)”の仮訳(畜産物関連部分抜粋)

本レポートは、国際原子力エネルギー機構(IAEA)、チェルノブイリ・フォーラム‘環境’専門家グループにより2006年にまとめられた報告である。畜産物に関連する部分として、3.3節、4.3節、6.5節を取り上げ、仮訳を作成した。

---

68 (独)農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所では、東京電力福島原子力発電所の事故後、「放射性物質影響ワーキンググループ」により、チェルノブイリ事故に関連した英文論文の和文要約を公開している(2011年10月には「食糧50号」として刊行されている)。http://www.nfri.affrc.go.jp/guidance/kankobutu/kanko\_sou50.html